平成１９年度　評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校２年　理科　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容		出題のねらい	観点 自然事象への関心・意欲・態度	観点 科学的な思考・判断	観点 観察・実験の技能・表現	観点 自然事象についての知識・理解
①	1	(1)		2分野　大地の変化　中１	(2)イ(ア)	火山と地震	スケッチから鉱物の特徴を読み取ることができること。			○	
②		(2)		2分野　大地の変化　中１	(2)イ(ア)	火山と地震	火山の活動に関した「マグマ」という用語を理解していること。				○
③		(3)	ア	2分野　大地の変化　中１	(2)イ(ア)	火山と地震	観察した火成岩のスケッチから粒の大きさや色に注目して区別できることを説明できること。			○	
④			イ	2分野　大地の変化　中１	(2)イ(ア)	火山と地震	深成岩の生成について，場所と時間を考えることができること。		○		
⑤		(4)		2分野　大地の変化　中１	(2)イ(ア)	火山と地震	火山灰から鉱物を取り出す方法を正しく説明できること。			○	
⑥	2	(1)		2分野　大地の変化　中１	(2)イ(イ)	火山と地震	「震度」と「マグニチュード」の違いを理解していること。				○
⑦		(2)		2分野　大地の変化　中１	(2)イ(イ)	火山と地震	地震は波なので震源を中心に波紋のように伝わっていくことを考察できること。		○		
⑧		(3)	ア	2分野　大地の変化　中１	(2)イ(イ)	火山と地震	Ｐ波，Ｓ波それぞれのゆれ方の特徴を理解していること。				○
⑨			イ	2分野　大地の変化　中１	(2)イ(イ)	火山と地震	２つの地震の波の速さの違いから，初期微動継続時間を計算できること。			○	
⑩			ウ	2分野　大地の変化　中１	(2)イ(イ)	火山と地震	「緊急地震速報」に関心を持ち，防災意識が高いこと。	○			
⑪	3	(1)		2分野　動物の生活と種類　中２	(3)ア(イ)	動物の体のつくり	実験を複数回行うことの意味を理解し,説明できること。			○	
⑫		(2)	ア	2分野　動物の生活と種類　中２	(3)ア(イ)	動物の体のつくり	意識して反応する刺激の伝わり方の正しい経路を考察できること。		○		
⑬			イ	2分野　動物の生活と種類　中２	(3)ア(イ)	動物の体のつくり	脳が判断し命令を出すことによる時間差を考察できること。		○		
⑭		(3)	ア	2分野　動物の生活と種類　中２	(3)ア(イ)	動物の体のつくり	無意識の反応を「反射」ということを理解していること。				○
⑮			イ	2分野　動物の生活と種類　中２	(3)ア(イ)	動物の体のつくり	反射の具体的な例に関心をもち，その意味を説明できること。	○			
⑯	4	(1)		2分野　動物の生活と種類　中２	(3)イ(ア)	動物の仲間	生物の特徴を捉え，その特徴をあげて説明できること。			○	
⑰		(2)		2分野　動物の生活と種類　中２	(3)イ(ア)	動物の仲間	体のつくりの比較から同じはたらきをする器官を考察できること。		○		
⑱		(3)	アイ	2分野　動物の生活と種類　中２	(3)イ(ア)	動物の仲間	セキツイ動物のそれぞれの類の特徴を理解していること。				○
⑲				2分野　動物の生活と種類　中２	(3)イ(ア)	動物の仲間	身近な動物に興味・関心をもっていること。	○			
⑳	5	(1)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(ア)	電流（静電気）	「電気の力」という語句とその意味を理解していること。				○
㉑		(2)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(ア)	電流（静電気）	引き合う力と反発力という電気の力を電気の＋と－の関係から考察できること。		○		
㉒		(3)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(ア)	電流（静電気）	静電気が電気の移動により発生することを考察できること。		○		
㉓		(4)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(ア)	電流（静電気）	静電気に関心を持ち，静電気による火花が火災につながる危険性を認識していること。	○			
㉔	6	(1)		1分野　電流とその利用　中２	(3)イ(ア)	電流（磁界）	電流が磁界の中で受ける力を調べる実験ができること。			○	
㉕		(2)		1分野　電流とその利用　中２	(3)イ(ア)	電流（磁界）	電流の向きを理解していること。				○
㉖				1分野　電流とその利用　中２	(3)イ(ア)	電流（磁界）	磁界の向きを理解していること。				○
㉗		(3)		1分野　電流とその利用　中２	(3)イ(ア)	電流（磁界）	実験装置に興味を持ち，工夫・改善できること。			○	
㉘		(4)		1分野　電流とその利用　中２	(3)イ(ア)	電流	電流が流れることにより発熱することを考察できること。		○		
㉙	7	(1)	ア	1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	家庭や学校での配線が並列回路になっていることを理解していること。				○
㉚			イ	1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	並列回路では，電圧が一定であることを理解していること。				○
㉛			ウ	1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	並列回路では，一方の回路がきれても他は流れることを理解していること。				○
㉜		(2)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	電流計の目盛りを正しく読み取ることができ，計算で抵抗を求めることができること。			○	
㉝		(3)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	電流と電圧の測定値を正しくグラフにできること。			○	
㉞		(4)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	電流と電圧の測定値の正しいグラフを作成できること。			○	
㉟		(5)		1分野　電流とその利用　中２	(3)ア(イ)	電流	オームの法則を用いて電圧の大きさを計算できること。			○	